



2019年1月23日

各 位

会 社 名 株式会社SUBARU
代 表 者 名 代表取締役社長 中村 知美
(コード番号：7270 東証第1部)
問 合 せ 先 執行役員総務部長 齋藤 勝雄
(TEL 03-6447-8825)

当社群馬製作所の操業停止と、一部車種における不具合事象について

去る1月16日、当社の一部車種で使用している自動車部品に不良が生じている可能性があることが判明しました。品質第一の観点から、安全を最優先し同日夜より当社群馬製作所（本工場・矢島工場）での全ての車両生産・出荷を停止し、当該車種の新車登録を一時停止しています。

本日までに不良が生じる原因等について一定の確認が取れ、それに基づき対策を施した部品を準備できるめどが立ったことから、週明け（早ければ1月28日（月））より、群馬製作所での車両生産・出荷を再開する方向で準備を進めています。また、現時点で把握している情報を、以下の通りお知らせします。

記

1. 判明日

2019年1月16日

2. 操業停止場所

当社群馬製作所（本工場・矢島工場）

3. 不良が生じている可能性がある部品

電動パワーステアリング装置

4. 対象車種

当社群馬製作所で生産しているフォレスター、インプレッサ、SUBARU XV の全車

なお、上記以外の車種（レガシィ、アウトバック、レヴォーグ、WRX、SUBARU BRZ、トヨタ86の6車種）については、当該部品不良の対象ではありませんが、同一の車体組立ラインを使用しているため、生産・出荷を停止しています。

5. 不良が生じている可能性がある車両の製造期間

2018年12月下旬～2019年1月16日

但し、この製造期間については現在精査中であり、今後変動する可能性があります。

なお、当社は2018年12月29日から2019年1月6日まで冬期休暇のため、この間は生産していません。

6. 当該不良が生じた場合に発生する事象

メーターパネル内のステアリング制御警告灯が点灯するとともに、パワーステアリング機能が停止し、ハンドル操作が重くなる（通常よりも大きな力を要する状態）恐れがあります。万一、そのような状態になりましたら、直ちに運転を中止し、お近くのSUBARU販売店へご連絡ください。

7. 不良の原因

詳細な原因・メカニズムについて、調査を継続しています。

8. 今後の対応

既に生産済みの車両については、安全・安心の観点から適切に対応します。

9. 業績への影響について

当社連結業績への影響につきましては、現時点では不明であります。今後、開示すべき事項が発生した場合は速やかにお知らせいたします。

上記は現時点で把握している情報であり、完全な確認が取れていない情報が含まれます。また、原因等の確認作業の進捗に伴い、今後情報が変化する可能性があります。その際は、改めてご案内しますので、何卒ご理解のほど、お願い申し上げます。

以 上